change! MISAKI3

住民が創る、世界に誇れる岬町!

変えよう、岬町を。私たちで!

change! MISAKI は、岬町議会議員の松尾が、岬町の動き等、特に住民の皆様に関心をお持ちいただきたいことをお伝えします。多くの方に 町の政治を考えていただき、そして皆様の意見を、私たち議員に伝えていただくことが、より良い町をつくっていくことにつながると考えます。 行政のためでなく、住民のための町となるように、皆様からいただく声を、私はしっかりと行政に伝えます。ご意見をお待ちしております。



「身近で開かれた議会」を目指し、2年前には議会一般質問の様 子を「YouTube」への掲載が決定し、議会としてUPしてきました。



今年はさらに議会活動を知っていただこうと、長らく休刊していた「議会だより」の復活が 決定! 議会で広報委員会が発足しました。広報委員会は、一致団結して協力しながら記 事の収集やライティング、写真撮影や企業等へのインタビュー、紙面のデザインまでも、 全て委員会メンバーだけで制作を行っているため、実質印刷費のみで仕上げられています。 私はWEBやグラフィック等の仕事を請負っているプロデザイナーとして、全ページのデザ インと画像処理等作業を担当し、今年度合計3刊を制作しました。これは専門性が問われ る作業なので、私以外でも制作できる委員が現れるかが今後の課題ですが、私が議員を 続けさせていただける限り、私のすべきことは全力で継続することを約束します。

りがとっても前進!

私が議員となってから議会で一貫して取り上げてきた、空き家問 題と空き家を活用したまちづくりの推進。不動の0件を更新してき



た空き家バンク登録から、全国の先進自治体の取組例や私から様々な提案を示して議論 を続けてきた結果、①制度そのものの周知の徹底 ②空き家実態調査と所有者アンケー トの実施 ③空き家バンク制度の見直しの検討 ④倒壊の緊急性のある空き家の対策 ⑤空き家の悩みや活用に対する適切な対応やセミナー等の開催等が実施され、空き家バ ンク登録はもちろん、問い合わせが増加。また3月議会で「岬町空家等対策協議会条例」 が可決し、空家等対策協議会を設置しさらに対策が進みます。今後は利活用に重点を置 き、転入促進施策等、空き家を活用した町の活性について提案していきます。

昨年約3ヶ月間、深日港 - 洲本港間の航路復活に向けての航路旅 客船社会実験運行をし、H30年度も国の地方創生交付金にて実



施できるよう町が動いていますが、同プランでは国は首を縦に振らない状況。しかし利用者 が計1万人を超え、また運行中に洲本市と岬町の議会による交流を通じ航路復活に向けた 話合いが続いた結果、お互いの市町にとって航路復活をきっかけとした地域活性に協力する 事で一致し、「深日・洲本港航路の再生に向けた連絡協議会」が発足、深日港活性化副委 員長として協議会の構成委員となりました。航路復活には以前から私は、先に岬町の観光 産業を活性させることが最優先だと訴え、現在も1プレイヤーとしてNPO法人Re-Liveで 休耕地と空き家の活用による体験型観光ツアーの企画実施や岬町のPR活動を続けています。 今後はさらに 1.各種団体と連携し、岬町に訪れる方へのサービス受入体制の確立を目指 2.洲本市の商工会議所等各種団体と交流・連携等を目指す。よう、私は動きます。

過去の一般質問の様子をご覧いただけます▶▶

般質問 松尾匡



1. 道の駅"みさき"運営の行方は?

利用状況や運営状況、課題とその解決方法、今後の運営に ついて等を聞いた上で提案等をし議論しました。

2. 深日港観光案内所"さんぽるた"運営の行方は? 利用状況や運営状況、来場者やグッズ販売、案内等の数、 課題と解決方法、今後の運営等についてお聞きし議論しました。



平成29年第2回 定例会 松尾匡



1. 増加する空き家対策と空き家バンク制度の 見直しを!

岬町で空き家実態調査が行われた結果を受け、今後どう対 策を進めるかの検討や、空き家所有者へのアンケート結果 から見れる課題への対策やフォローの提案、空き家対策に 地域おこし協力隊導入の提案、空き家バンク制度の見直し 改善の提案、空き家の利活用についての提案等を行いました。所有者



8月議会の 動画



平成29年第3回定例会 松尾匡

1.岬町の景観を保全する条例の制定を!

太陽光パネルの乱立抑制のため、景観条例を定めて いる自治体の例を挙げ、岬町版の条例制定の提案等 をしました。

2. 空き家対策の進捗と転入促進策を問う!

8月議会で私が提案した、空き家対策や空き家バンク 制度見直しの進捗状況を精査。またお試し移住制度 等、岬町への移住者を増やす制度等を提案しました。

多くの桜やつつじ等を除却し、あ たご山に建設された太陽光発電所



12月議会の動画

はこちら

平成29年第4回 定例会 松尾匡

岬町議会議員

- ●2017年度議会
- •厚生委員会 副委員長
- •広報委員会 副委員長
- •深日港活性化特別委員会 副委員長
- ●大阪府商工会青年部連合会 副会長
- ●岬町商工会青年部 理事
- ●淡輪小学校PTA 副会長
- ●NPO法人Re-Live (リライブ) 理事長
- ●株式会社オルタナティブ 代表取締役

PROFILE

S50年、岬町で生まれ育つ。 大学卒業後、東京でメーカーの営業を 経験後、開発研究室で新製品の開発 やデザイン、設計など商品プロデュー スやマーケティングなどに従事。

H24年に会社を辞め、IT・デザイン 等を制作する(株)オルタナティブを設立。 岬町を中心に活動開始も、人口減少・ 高齢化、雇用喪失、急増する休耕地や 空き家の問題等、多くの困難な社会的 課題に気づき、「自分たちの町は自分 たちで創る」「町の課題をビジネスモデ ルにて解決する」ことを目的とする、 NPO法人Re-Live(リライブ)を設立。

岬町に交流人口を増やすために、町 内の休耕地を整備し、パソコンやスマホ で本物の無農薬有機野菜をボタン操作 で遠隔栽培できる「リモコン農園」や貸 し農園、体験農園を開発・実施したり、 体験型観光ツアー等を企画・実施し、そ の拠点として空き家を整備し有効活用。

同時に障害者就労継続支援A型B型 事業所「いにしき」、放課後等デイサー ビス「ちょいす」を設立、Re-Liveの各事 業を通じ、障がい者が社会参加できる 仕組みを創出し、町の課題解決と同時 に町の活性と仕事・雇用創出に取組中。

H27年の議員選挙にて初当選。 今年5月で議員4年目を迎える。

松尾 匡の活動の動きはこちらから。 ▼▼ 松尾 匡のホームページ ▼▼

http://t-matsuo.net 岬町 松尾匡 Q、 📆



ご意見・お問合せは ▼こちらへ ▼ mail@t-matsuo.net



1. 「子ども議会」の定例化を!

H28年に岬町で初めて開催された子ども議会。振り返って 反省しながら、子ども議会開催の目的について改めて考え、 子どもの時からまちづくりについて考え、発言する機会をつ くる事が、町政やまちづくりへの関心、岬町への愛や誇りを 醸成し、また議員のなり手不足の解消にも繋がると考えます。 「無関心」こそが、町や政治をダメにします。

1回限りのパフォーマンスとして終わらさず、子ども議会の 開催の定例化を私は提案しました。

2. 「買い物弱者」対策について

スーパー「ママショップ」がなくなり、買い物が困難になっ たいわゆる「買い物弱者」の方が増えました。今後高齢化 は進みより一層弱者の増加が見込まれる中、町として買 い物弱者対策の考えがあるかを聞き、全国で取組中の様 々な事例を取上げ、様々な角度から岬町版の解決策を私 から提案し議論しました。また行政だけでは解決が難しい 課題なので、地域おこし協力隊の協力や民間団体と協議 する場をつくる事が大切である事を伝えました。

H30 年 3月議会 の動画 はこちらり



平成30年第1回定例会 松尾匡 Q

家対策・転入促進施策の先進自治体への研



雪浦地区の交流拠点にて。NPO 法人雪浦 あんばんね代表と西海市政策企画課の職員

さん。岬町との交流で話が盛上りました!







西海橋公園と、うず潮海峡

多久のアートを探しに行こう! 商店街に描かれたアートの数々。 アート目当てに全国から訪れる人も! 5.推時計 店



ボルダリングでも 有名な多久市!



'あいぱれっと"

福岡県にある珍しい "ダムの駅"と産直販売施設



有明海干潟での泥競技"ガタリンピック

全国から参加者が訪れる、

噴火の土石流の被災を受けた家屋

私のテーマである「空き家対策・転入促進・観光施策」が進む自治体、特に空き家バンク登録の1ヶ月 の物件登録数と成約数が共に全国3位の西海市、空き家バンク登録率が全国9位の多久市、転入促 進施策が進んでいる島原市へ研修に伺いました。各市職員の方々から熱くも親切丁寧なお話に加え、 地域案内や民間団体とも繋げて頂いたお陰で、とても有意義な研修となりました。

西海市は、空き家バンク活用がどんどん進む裏には鍵となる職員 「移住相談員」がいて、空き家登録 や移住の検討者に対して手厚いフォローと、地域住民や団体と繋げてお試し移住等を勧めたりで高確 率で空き家バンク登録や移住を成功させています。また民間のNPOも活発で官民が連携・一丸となり 転入促進と受入体制ができています。

多久市も、西海市と同様の鍵職員がいる事で、空き家バンク登録や移住希望者のマッチングを高め ている事や、アートを取り入れたまちづくり、また教育や働き方改革として全国でも先駆のICT化とシェ アリングエコノミー(共有経済)の推進で、子育ママでも働きやすい環境が子育世代の転入を強力に 後押ししています。

道の駅活性化の手本! <mark>島原市</mark>は、雲仙の麓に位置する資源豊富なまちで、農業・漁業・観光が発展しており、子育世代と移 住者には手厚く充実した数多くの各種補助制度や、若者のチャレンジを応援する創業や就職の支援制度が充実、また市が婚活から育児までを手厚く支援する「ハッピーカフェ」にて、 お見合いや婚活イベント開催など結婚のサポートや、子育ボランティアでの支援により、少子化と定住促進の対策を積極的に行っています。

岬町の空き家対策・転入促進・観光施策を一層進めるため、私は議会において今回の研修で得た知識を岬町版にして行政に提案し議論を深め、有効な制度の実現化を目指します。



仕事について、講師として学生さんへ話ました!



商工会青年部・観光協会・財産区・亜細亜教育・投資(株) の皆さんと協働で行なった、あたご山清掃&超長流しそうめん。 各国の学生さんに岬町を感じてもらい交流を楽しみました!





議員として議会での発言や行動により行政に提案等して町を良くしていくことは当たり前のことで すが、一方で私自身が町の課題解決のため様々なまちづくり活動に取組むことを大切にしています。 それは「自分たちの町は自分たちでつくる」意識こそが住民主体の町となると考えているからです。 行政は町を創るのではなく、私たち住民のサポート役です。私たちの目指す町となるよう、私たちで 町の未来を考えて、行動を起こしていければと思っています。 みなさんの声を聞かせてください!



無農薬有機古代米の生産と体験型観光ツアーを兼ね て休耕地の有効活用と岬町の PR に努めています!



多奈川地区の歴史ある古い大邸宅の "お掃除リーグショップ この空き家を有効活用するプランを地域の皆さんと考えました。 地域の賑わいを生み出すために現在整備・企画中です!

ペトナム社会主義共和国建国72周年記念式典 ational Day of the Social . 9 . 1945 - 2 . 9 . 2017



待ち構えていてもお客はやってきません。岬町ヘピンポイント にお客が来るよう、ベトナム領事館や海外旅行会社などと折衝 し、岬町の PR と営業活動をしています。